

ご自分の判断でピエテネール錠の服用をおやめになりますと、病気が悪化したり、再発したりする危険性がありますので、主治医の指示を守って、きちんと飲み続けてください。



- *1 肝障害: 肝臓の機能が低下する病気です。目や皮膚が黄色くなる(黄疸)ことがあります。まれに重い食欲不振、疲労感、脱力感等があらわれることがあります。
- *2 顆粒球減少症: 白血球のうち、細菌から体を防御する働きをもつ顆粒球が減少する病気です。顆粒球の減少により細菌に感染しやすくなり、まれに肺炎等の重い感染症になることがあります。
- *3 血栓性血小板減少性紫斑病: 血管の中で小さい血栓がたくさんできて、皮下出血(紫斑)や意識障害などの精神・神経症状、発熱、血小板の減少、腎臓の障害を起こす病気です。

主治医または薬剤師への連絡先

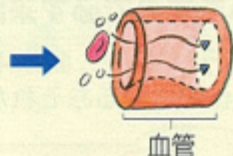
ピエテネール錠を飲まれる方へ



このお薬は、血のかたまりができるのを防ぎます。



ピエテネール錠を服用すると…



(血のかたまりができるのを防ぐ。)



ほおっておくと…



血のかたまり(血栓)

脳梗塞、慢性動脈閉塞症など

血管の中で血のかたまりが詰まると脳梗塞、慢性動脈閉塞症などにつながります。

お薬を飲みはじめてから2か月以内に重い副作用がごくまれに起こることが知られていますので、最初の2か月間は2週間毎に血液検査を行います。必ず来院してください。

安心して治療を受けていただくために、裏面もお読みください。

飲みはじめてから2か月までの方へ

このお薬は、「肝障害*1」、「顆粒球減少症*2」、「血栓性血小板減少性紫斑病*3」などの重い副作用がお薬を飲みはじめてから2か月以内にごくまれに起こることが知られています。*:解説は裏面をご覧ください

飲みはじめてから2か月間は2週間毎に血液検査を行いますので必ず来院してください。

血液検査を行わないと、副作用の発見がおくれ、より重い副作用になるおそれがあります。

たに折り

2か月以上飲まれている方へ

ピエテネール錠を飲みはじめてから2か月を過ぎますと、過度に心配される必要はありませんが、念のために今後も定期的に血液検査を行いますので来院してください。



2週間

検査

2週間

検査

2週間

検査

2週間

検査

検査

検査

検査

特に**2か月間**

● 歯科や他の病院にかかるときは…

ピエテネール錠を飲んでいることを医師または薬剤師に必ず伝えてください。

いつもと違う下記のような症状に気がいたら、すぐに医師に連絡してください。

・熱が出る(37℃以上)

・のどが痛む

・鼻や歯ぐきから出血する

・尿が茶色っぽくなる、血が混じる



・あざができる(紫色・赤色)

・皮膚や眼が黄色くなる

・ぶつぶつがでる



・食欲がなくなる

・意識が低下する(うとうとする)

・強い疲労感を感じる

